

2025 年度 熊本県立劇場アニュアルレポート

KUMAMOTO PREFECTURAL THEATER 2025-2026



第 67 回熊本県芸術文化祭オープニングステージ「はじまり はじまり～県劇舞台づくり学校～」

公益財団法人熊本県立劇場

記録写真



2025 年 4 月 19 日 けんげキッズプログラム
九響 0歳からのオーケストラ



2025 年 5 月 10 日 ホワイエサロンシリーズ vol.11 労の集



2025 年 5 月 18 日 東京藝術大学音楽学部
早期教育プロジェクト in 熊本くヴァイオリン部門>



2025 年 5 月 25 日 シアターアジアオープニングシンポジウム



2025 年 5 月 30 日 ポール・ホアン 公開レッスン



2025 年 5 月 31 日 台湾フィルハーモニック



2025 年 7 月 5 日 宇宙船イン・ビトゥーン号の窓
岡田利規ワークショップ



2025 年 8 月 2 日～3 日 宇宙船イン・ビトゥーン号の窓



2025 年 8 月 8 日～10 日 北部九州ジュニアオーケストラ・フェスティバル in 佐世保



2025 年 8 月 14 日 県劇盆踊り



2025 年 9 月 21 日 第 67 回熊本県芸術文化祭 オープニングステージ「はじまり はじまり～県劇舞台づくり学校～」



2025 年 8 月 31 日 ホワイエサロンシリーズ vol.12 朗読 夢十夜



2025 年 12 月 18 日
小曽根真 No Name Horses 20 年目の day 1



2026 年 1 月 17 日～18 日 舞台技術の基礎講座



2026 年 1 月 22 日 第 19 回ショパン国際ピアノ・コンクール
入賞者ガラ・コンサート



2026 年 1 月 24 日～25 日 みんなで踊ろう！
～障がいのある人もない人も、一緒に踊るワークショップ～



2026 年 1 月 31 日 避難訓練コンサート



2026 年 2 月 7 日 ホワイエサロンシリーズ vol.13
ホワイエ薪能



2026 年 2 月 8 日 ホワイエサロンシリーズ vol.13
ホワイエ薪能関連企画 能楽ワークショップ



2026 年 2 月 28 日
けんげきキッズプログラム 行くぜ！劇場探検隊



2026 年 3 月 7 日 劇場って楽しい！！【熊本公演】

目 次

○ 記録写真	1
I ごあいさつ	5
II 2025 年度文化事業	6
III 施設利用および管理運営業務	18
IV 広報業務	19
V 劇場および財団の概要	21
VI (公財) 熊本県立劇場中期運営基本方針	26
VII 資料	27

I ごあいさつ

2025 年度熊本県立劇場アニュアルレポートの発行にあたり、日頃より当財団の活動を支え、ともに歩んでくださっている県民の皆様、国内外のアーティストや関係者の皆様に、深く感謝申し上げます。

私たちが生きるこの時代は、地球規模での分断と不安が広がる一方で、地域から新たなつながりを紡ぐことが強く求められています。震災や感染症、大規模な自然災害を経験した熊本は、そのただ中で「共に生きるとは何か」を問い続けてきました。県立劇場もまた、一つの建物であると同時に、多様な人々が出会い、語り合い、互いの違いを認め合う「公共空間」でありたいと願っています。



2025 年度は、芸術文化の拠点としての役割に加え、「学び」と「対話」の場づくりに力を注ぎました。子どもたちが舞台芸術を通じて世界と出会う機会、地域に根ざした表現者たちが作品を育てていく環境、そして世代や立場を越えて語り合うシンポジウムやワークショップなど、多様なプログラムに多くの方が参加してくださいました。その一つ一つが、熊本という地域の未来をともに構想する営みだったと感じています。

また、アジアに開かれた劇場として、隣り合う地域同士が互いの歴史や文化に耳を澄まし、学び合うことを大切にしてきました。国境や言語の違いを越えて、人間の喜びや痛みは共有できるのか。この根源的な問いに、舞台芸術は静かに、しかし確かに応答してくれます。熊本の地からアジアへ、そして世界へとつながる創造と交流のチャンネルを広げることは、これからの劇場の大きな使命だと考えます。

結びに、熊本県立劇場を支えてくださるすべての皆様に、あらためて感謝申し上げます。

これからも、皆様とともに劇場のある日常を育み、世代を超えて受け継がれる文化芸術の土壌を築くとともに、県立劇場が一人ひとりの物語と響き合う「広場」としてあり続けることを願いながら、職員一丸となって歩みを進めてまいります。

公益財団法人熊本県立劇場 館長 姜 尚中

Ⅱ 2025 年度文化事業

第 5 期指定管理者として示された県の方針に則り、5 つの柱をもとに取り組みました。

(1) 芸術文化の創造拠点として取り組む事業

- ① 実演芸術に係る人材の育成や確保を行う事業
- ② 地域の公立文化ホールや文化団体を支援する事業
- ③ 伝統芸能の継承と発展を支援する事業

(2) 芸術文化の普及拠点として取り組む事業

- ④ 実演芸術を鑑賞する機会を県民に提供する事業
- ⑤ 芸術文化に触れる機会を県民に提供する事業

主催事業

◇ 劇場人育成プログラム

1

制作者や技術者等、実演芸術を担う専門人材の育成に係る事業として、公立文化ホール職員向けの研修プログラム「劇場人育成プログラム」を継続実施しています。2025 年度は全 9 回の研修を実施しました。

回	日程	内 容	講 師
1	4/17(木)	概論 公共劇場の運営について 「公立文化施設は何かダメなのか？ ～前に進むための考察～」	三重県文化会館 副館長 松浦茂之
2	7/10(木)	舞台技術(1) 照明（初級） 「照明の基礎知識と基本作業」	東京文化会館 乳原一美
3	7/10(木)	舞台技術(2) 音響（初級） 「音響の基礎知識と基本作業」	東京芸術劇場 石丸耕一
4	8/28(木)	改修工事 「未来への投資となる改修を考える」	空間創造研究所 草加叔也
5	9/24(水)	舞台技術(1) 照明（中級） 「舞台での明かりづくり」	東京文化会館 乳原一美
6	9/24(水)	舞台技術(2) 音響（中級） 「劇場での音づくりと操作」	東京芸術劇場 石丸耕一
7	10/9(木)	会計 「インボイス制度とフリーランス新法」	公認会計士山内真理事務所 山内真理
8	11/27(木)	メンタルヘルスとハラスメント	ciel 社会保険労務士法人 吉村睦美
9	2026. 3/1(日)	〔公開講座〕著作権講座	骨董通り法律事務所 岡本健太郎

2021 年 4 月からホールを部分的に利用できる新しい施設の使用区分を設け、ホワイエのみを使った小規模の催物の開催など、施設の多様な使い方ができるようになりました。これを機に誕生したのが「ホワイエサロンシリーズ」です。県民へ気軽に文化芸術に触れる機会を提供するとともに、出演者には積極的に県出身者を起用し、アーティスト育成の場としても活用しています。2025 年度は箏アンサンブル、朗読劇、薪能を実施しました。

vol.11 芬の集

日時：2025 年 5 月 10 日（土）開演 14：00

会場：熊本県立劇場コンサートホールホワイエ

入場料：3,000 円

入場者数：172 人

出演：清原晏、長谷由香、細川喬弘

vol.12 朗読 夢十夜

日時：2025 年 8 月 31 日（日）開演 18：30

会場：熊本県立劇場コンサートホールホワイエ

入場料：3,000 円

入場者数：174 人

出演：大迫旭洋（演出・出演）、井芹誉子【劇団「石」】（出演）、

高田大介【太鼓芸能集団「紬衣」】（音楽）、田中理雄【太鼓芸能集団「紬衣」】（音楽）

姜尚中【熊本県立劇場 館長】（モデレーター）

vol.13 ホワイエ薪能

日時：2026 年 2 月 7 日（土）開演 18：00

会場：熊本県立劇場コンサートホールホワイエ

入場料：4,000 円

入場者数：221 人

出演：狩野了一（シテ方喜多流）、野村万禄（狂言方和泉流）ほか

◇ けんげきキッズプログラム 九響 0 歳からのオーケストラ

九州交響楽団との連携協定後第一弾の事業として 0 歳から入場できる本格的なクラシックコンサートを実施しました。公演前にはホワイエでウェルカムコンサートも実施され、笑顔があふれる時間となりました。

日時：2025 年 4 月 19 日（土）開演 14：30

会場：熊本県立劇場コンサートホール

入場料：一般 3,000 円 こども 1,000 円 3 歳未満ひざ上無料

入場者数：1,482 人

主催：（公財）九州交響楽団、（公財）熊本県立劇場

◇ 東京藝術大学音楽学部 早期教育プロジェクト 2025 in 熊本＜ヴァイオリン部門＞

1

東京藝術大学の講師によるレッスンを熊本で受けることができる機会。ヴァイオリニストの玉井菜採教授を講師に迎え、小学4年～中学2年の5名が受講しました。かみ砕いたわかりやすい指導を行い、レッスン後には東京藝術大学の学生によるミニコンサートを実施しました。

日時：2025年5月18日（日）開演 10：30

会場：熊本県立劇場音楽リハーサル室

受講料：無料

受講者数：5名

講師：玉井菜採（東京藝術大学音楽学部 教授）

主催：東京藝術大学音楽学部、（公財）熊本県立劇場

協賛：全日本空輸株式会社

◇ シアターアジア オープニングシンポジウム

5

2025年度から本格スタートするシアターアジア事業のスタートを記念したオープニングシンポジウム。第一部で姜尚中館長の講演、第二部で昭和音楽大学の石田麻子教授、木村敬熊本県知事、姜尚中館長によるシアターアジアを通して見える熊本の未来についてのシンポジウムを行いました。

日時：2025年5月25日（日）開演 14：00

会場：熊本県立劇場演劇ホール

入場料：無料

入場者数：150人

出演：石田麻子（昭和音楽大学教授）、木村敬（熊本県知事）、姜尚中（熊本県立劇場館長）

共催：熊本県

◇ 台湾フィルハーモニック [NSO 國家交響樂團]

指揮：準・メルクル

4

シャオ・タイラン作曲「フォルモサからの天使」、ポール・ホアン（Vn.）によるベートーヴェン作曲ヴァイオリン協奏曲、森麻季（Sop.）が歌うマーラー作曲交響曲第4番など、内容の濃いプログラムに聴衆から大きな拍手が贈られました。

* 子ども未来プロジェクト 2025（子ども招待）対象事業

日時：2025年5月31日（土）開演 14：00

会場：熊本県立劇場コンサートホール

入場料：S席 6,000円 A席 4,000円

入場者数：820人

出演：準・メルクル（指揮）ポール・ホアン（ヴァイオリン）、森 麻季（ソプラノ）、台湾フィルハーモニック

◇ 宇宙船イン・ビトゥイーン号の窓

4

熊本在住の劇作家・演出家、岡田利規が主宰を務めるチェルフィッチュが手がけた演劇公演。舞台上舞台形式で上演されたため、観客は俳優の演技を間近で見ることができ、終始見入っていました。

本作は、日本語を母語としない俳優たちと共に創り上げた作品であり、その意味や創作過程への理解を深めるために、終演後、岡田氏によるアフタートークも実施されました。

日時：2025年8月2日（土）開演 18：00、8月3日（日）開演 14：00

会場：熊本県立劇場演劇ホール 舞台上

入場料：一般 4,000 円

入場者数：258 人

出演：安藤真理、徐秋成、ティナ・ロズネル、ナス・ロケ、ロバート・ツェツシェ、米川幸リオン

◇ 北部九州ジュニアオーケストラ・フェスティバル in 佐世保

1

音楽を通し未来を担う青少年を育成することを目的として、熊本、福岡、大分、長崎のジュニアオーケストラが一堂に会し、2 日間のリハーサル後に有料公演を実施。2023 年に熊本で実施したミュージックキャンプを皮切りに 2024 年は福岡、今年は佐世保で開催しました。

日程：2025年8月8日（金）～10日（日）

会場：アルカス SASEBO

参加者数：150 人

入場料：一般：1,000 円 3 歳～高校生 500 円

入場者数：621 人

参加団体：アルカス SASEBO ジュニアオーケストラ、iichiko グランシアタ・ジュニアオーケストラ、熊本ユースシンフォニーオーケストラ、福岡ジュニアオーケストラ

主催：（公財）佐世保地域文化事業財団、（公財）大分県芸術文化スポーツ振興財団、（公財）熊本県立劇場、（公財）アクロス福岡

◇ 県劇盆踊り

3

5

邦楽演奏家「あべや」の生演奏で、地元の舞踊団体と来場者が一緒に踊れる盆踊りを実施しました。地域に開かれた「共生の広場」としての劇場を体現するため、劇場近隣の店舗が「Kengeki マルシェ」をコンサートホールホワイエに出店。英語の情報ページ作成の効果もあり、外国人来場者も多く見られ、過去最高の入場者数を記録しました。

日時：2025年8月14日（木）開演 16：30

会場：熊本県立劇場演劇ホールホワイエ ほか

入場料：無料

入場者数：2,400 人

出演：あべや、牛深ハイヤ保存会、中山芳保会、きくち盆踊り部

協賛：大腸肛門病センター高野病院、ゆめマート大江、レストラン七彩、リコージャパン(株)熊本支社

協力：大江校区自治協議会、託麻原校区自治協議会、大江校区自治会連合会、託麻原校区自治会連合会

◇ 第 67 回熊本県芸術文化祭オープニングステージ

1

4

「はじまり はじまり～県劇舞台づくり学校～」

今年度は「舞台づくり学校」と題し、舞台が創られる過程に参加・体験できる機会を設けた事業とした。ダンス・音楽・衣裳・映像の各チームが全力で取り組み、迎えた本番では、その集大成を舞台上で披露しました。

日時：2025 年 9 月 21 日（日）開演 14：00

会場：熊本県立劇場演劇ホール

入場料：指定席 2,000 円

入場者数：463 人

出演：プロジェクト大山、こどもパフォーマー、ゲスト 小林顕作

主催：熊本県芸術文化祭実行委員会、（公財）熊本県立劇場、熊本県文化協会、熊本県、

熊本県教育委員会、熊本日日新聞社、NHK 熊本放送局、RKK、TKU、KKT、FMK、KAB）

協力：八戸ポータルミュージアム はっち、ブロンズ新社

◇ 九州交響楽団熊本特別演奏会

指揮：リオ・クオクマン

4

九州交響楽団との連携協定後第 2 弾の事業として実施。前日の福岡での定期公演と同じプログラムを県外で実施するという初の試みで、指揮者・ソリストともに初来熊。来場者アンケートでは、定期公演のプログラムを今後も熊本で聴きたいという声が多く、来場者からは今後の連携事業に大きな期待を寄せられていることが伺えました。

* 子ども未来プロジェクト 2025（子ども招待）対象事業

日時：2025 年 11 月 8 日（土）開演 15:00

会場：熊本県立劇場コンサートホール

入場料：S 席 5,900 円 A 席 4,900 円 B 席 3,700 円 AB 学生 1,500 円

入場者数：1,378 人

共同主催：（公財）九州交響楽団、（公財）熊本県立劇場

◇ 小曽根真 No Name Horses 20 年目の the day 1

4

20 周年を記念した全国ツアー。10 月に各マスコミに協力を依頼し、小曽根氏本人が来熊して実施したプロモーション効果もあり、チケットは完売。世界で活躍するビッグ・バンドの圧倒的パフォーマンスに観客から惜しめない拍手と歓声を送られました。

* 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業対象事業

日時：2025 年 12 月 18 日（木）開演 19：00

会場：熊本県立劇場演劇ホール

入場料：S 席 6,500 円 A 席 5,500 円 B 席 4,500 円

入場者数：1,062 人

出演：小曽根真（ピアノ）、No Name Horses（ビッグ・バンド 14 名）

◇ 舞台技術の基礎講座

1

高校・専門学校・大学生を対象として、舞台、音響、照明それぞれの仕込みから上演まで体験する講座として実施。1 日目は体験も含めた講義、2 日目は県内在住の演者によるピアノ・朗読・ダンスの公演を通して、実際に仕込み～リハーサル～本番～撤収までの体験を行いました。舞台芸術や舞台技術者の仕事の魅力や必要性を感じてもらい、将来の舞台技術者養成につなげることを目的として継続して実施しています。

日程：2026 年 1 月 17 日（土）、18 日（日）

会場：熊本市男女共同参画センターはあもにいメインホールほか

参加料：2,000 円

参加者：16 人

スタッフ：熊本県立劇場及びはあもにい舞台スタッフほか

共催：熊本市男女共同参画センターはあもにい

協力：熊本県高等学校文化連盟、(株)大谷楽器

◇ 第 19 回ショパン国際ピアノ・コンクール 入賞者ガラ・コンサート

4

2025 年 10 月にワルシャワで開催された「第 19 回ショパン国際ピアノ・コンクール」において、1 位から 5 位までに入賞した受賞者 6 名が、本選のコンチェルトでも共演したワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団とともに来熊。国内では熊本が最初の演奏地となりました。観客は、充実期を迎えた演奏に大きな拍手を送り、スタンディングオベーションが起こるなど、熱気に包まれた公演となりました。

* 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業対象事業

日時：2026 年 1 月 22 日（木）開演 18：30

会場：熊本県立劇場コンサートホール

入場料：S 席 15,000 円 A 席 12,000 円 B 席 9,000 円

入場者数：1,707 人

出演：アントニ・ヴィット（指揮）、ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団（管弦楽）、

第 19 回ショパン国際ピアノ・コンクール入賞者

特別協賛：肥後銀行

◇ みんなで踊ろう！～障がいのある人もない人も、一緒に踊るワークショップ～

5

昨年に引き続き、障がいの有無にかかわらず参加できるダンスワークショップを実施。ダンサーの葉山悠介を講師に迎え、計 3 回のワークショップを行いました。各参加者の障害の有無・程度は違うものの、講師やアシスタントらの声掛けや見守りによりトラブルもなく、思い思いにダンスを楽しみました。

日時：2026 年 1 月 24 日（土）①開演 10：30 ②開演 14：30、1 月 25 日（日）③開演 10：30

会場：熊本県立劇場演劇リハーサル室

参加料：500 円

参加者数：105 人

講師：葉山悠介（ダンサー）

◇ 避難訓練コンサート

5

コンサート中の火災を想定し来場者の皆さまと一緒に避難訓練を行いました。小さな子どもや杖をついた高齢者等が参加しましたが、事前訓練を繰り返した劇場職員の誘導のもと、スムーズに避難を完了することができました。避難訓練のあとはホールに戻り、熊本市消防音楽隊の演奏を楽しみました。

日時：2026 年 1 月 31 日（土）開演 14：00

会場：熊本県立劇場コンサートホール

入場料：無料

入場者数：500 人

◇ けんげきキッズプログラム 行くぜ！劇場探検隊 [2 回公演]

1

劇場や舞台芸術への興味喚起を目的に、演劇仕立てのバックステージツアーを実施しました。参加者は、劇団きららの団員が扮する探検隊チームの一員として舞台裏を探検し、音響・照明・迫の操作体験に参加。楽しみながら舞台の仕組みや裏方の役割を学ぶ機会となり、舞台芸術をより身近に感じてもらうことができました。

日時：2026 年 2 月 28 日（土）①開演 10：45 ②開演 14：45

会場：熊本県立劇場演劇ホール

参加料：おとな 1,000 円 こども 500 円

参加者数：53 人

スタッフ：構成・演出／池田美樹（劇団きらら） 第 2 部 脚本／大迫旭洋（プレグラ）

◇ 劇場って楽しい！！

5

障害の有無に関わらず舞台芸術に触れる機会を提供する事業として、知的・発達障がい児（者）に向けた劇場体験プログラム。令和 6 年度から熊本・天草の 2 公演体制となり、2 回目の公演となりました。天草エリアを中心に県外からの来場もありました。

日時：熊本公演／2026 年 3 月 7 日（土） 天草公演／2026 年 3 月 8 日（日）ともに開演 14：00

会場：熊本公演／熊本県立劇場演劇ホール 天草公演／天草市民センターホール

参加料：500 円

参加者数：熊本公演／539 人 天草公演／136 人

出演：太鼓芸能集団 鼓童、森岡光（司会）

制作協力：国際障害者交流センター ビッグ・アイ、株式会社北前船

◇ バックステージ（館内見学）ツアー

5

バックステージツアーでは、受け入れる学校等の要望に合わせた多彩なプログラムを企画し全 7 回実施しました。参加した子どもたちが音響・照明機器を操作するなど、学校教育の一環である総合的な学習の時間（自己の生き方を考える探求的な職場体験学習）への取り組みに寄与しました。

参加者数：350 人

◇ 市町村ネットワーク事業

2

県内の公立文化施設と共同主催で、13 市町（うち 1 町は中止）で公演を実施し、公演を鑑賞する機会の地域間格差の是正に寄与しました。

9/6（土）	「ピアノの森」ピアノコンサート 2025 Summer	益城町文化会館(益城町)
9/7（日）	声優朗読劇フォアレーゼン～面会～	水俣市文化会館(水俣市)
9/14（日）	絵本 de クラシック「ピノキオの冒険」	ウイングまつばせ(宇城市)
10/18（土）	絵本 de クラシック「オズの魔法使い」	熊本市民会館(熊本市)
11/22（土）	古家優里ダンスワークショップ [2 回公演]	御船町カルチャーセンター(御船町)
11/22（土）	林家たい平独演会	大津町生涯学習センター(大津町)
R8 1/18（日）	三遊亭好楽落語会	宇土市民会館(宇土市)
2/22（日）	桂宮治独演会	あさぎり町須恵文化ホール(あさぎり町)
3/1（日）	津軽三味線演奏会「音色」	牛深総合センター(天草市)

◇ 演奏家派遣アウトリーチ事業

1

5

市町村の学校等に演奏家を派遣し、音楽の出前授業を行う事業。2025 年度は全 10 市町村 53 コマを実施しました。

開催市町村：産山村、球磨村、美里町、津奈木町、芦北町、あさぎり町、多良木町、水俣市、益城町、
宇土市

舞台芸術コーディネート事業

◇ こども本の森熊本コンサート

日時：2025 年 11 月 2 日（日）

会場：こども本の森熊本

入場料：無料 入場者数：55 人

出演：黒葛原康子（ヴァイオリン）、春日香南（クラリネット）、吉田秀晃（ピアノ）

◇ 芦北町演奏会

日時：2025 年 11 月 29 日（土）

会場：芦北町地域活性化センター

入場料：無料 入場者数：80 人

出演：高木佳央理（ソプラノ）、黒葛原康子（ヴァイオリン）、
春日香南（クラリネット）、吉田秀晃（ピアノ）

◇ こども本の森熊本コンサート

日時：2026 年 2 月 21 日（土）

会場：こども本の森熊本

入場料：無料 入場者数：49 人

出演：清原晏、宮崎美子（「こども本の森 熊本」名誉館長）

共催事業

◇台湾フィルハーモニック関連企画ポール・ホアン公開レッスン

日時：2025年5月30日（金）開演 18：15

会場：熊本県立劇場音楽リハーサル室

参加費：無料 入場者数：58人

講師：ポール・ホアン

主催：TSMC 教育文化基金

共催：台湾フィルハーモニック

後援：中華民国(台湾)文化部

◇第28回夏季狂言の会

日時：2025年7月21日（月・祝）開演 14：00

会場：熊本県立劇場演劇ホール

入場料：S席 8,800円 A席 6,600円 B席 5,500円 自由席 3,000円

入場者数：978人

出演：野村万作、野村萬斎、野村裕基

主催：ノマ企画

◇熊本ユースシンフォニーオーケストラ第56回定期演奏会

日時：2025年8月17日（日）開演 14：00

会場：熊本県立劇場コンサートホール

入場料：指定 2,000円 一般 1,500円 高・大学 1,000円 中・高校 500円

入場者数：1,200人

主催：熊本ユースシンフォニーオーケストラ

◇九州交響楽団 熊本特別演奏会プレイベント～野村誠×九州交響楽団 レクチャーコンサート～

日時：2025年9月20日（土）開演 16:00

会場：熊本市現代美術館

入場料：無料 入場者数：100人

出演：野村誠、岩下小太郎（肥後琵琶）、竹下芳乃（九州交響楽団）、八木ちはる（九州交響楽団）

主催：（公財）九州交響楽団

◇第63回熊本県新人演奏会

日時：2025年11月1日（土）開演 17：30

会場：熊本県立劇場コンサートホール

入場料：自由 1,000円

入場者数：720人

主催：熊本県文化協会

◇ラスカーラ・オペラ協会 設立 15 周年記念演奏会

日時：2025 年 11 月 3 日（月・祝）開演 14：00

会場：熊本県立劇場コンサートホール

入場料：S 席 6,000 円 A 席 5,000 円 自由席 3,500 円

入場者数：600 人

主催：ラスカーラ・オペラ協会

◇第 39 回熊本県民第九の会演奏会

日時：2025 年 12 月 21 日（日）開演 14：30

会場：熊本県立劇場コンサートホール

入場料：指定 3,500 円 自由席 3,000 円 学生券 1,500 円

入場者数：1,162 人

主催：熊本県民第九の会

オハイエくまもと協力事業

◇第 16 回とっておきの音楽祭

日時：2025 年 11 月 9 日（日）

会場：熊本市現代美術館

入場者数：250 人

文化芸術振興への取り組み

◇ぴっころシート

普段舞台芸術に触れる機会が少ない児童養護施設の子どもたちに生の舞台を鑑賞する機会を提供し、心豊かな青少年の育成に寄与するため、2007 年度よりスタートした子ども招待制度です。近年は対象を里親家族やグループホームにも広げ、多くの子どもたちが舞台芸術を楽しんでいます。

※2025 年度実績：5 公演に 8 団体、里親 6 家族 計 125 人が参加

◇子ども未来プロジェクト（子どもの鑑賞支援）

子どもたちが本格的な実演芸術を鑑賞・体験する機会の提供及び将来の文化芸術の担い手や観客育成に資することを目的とし、2024 年度より開始。一部の文化事業に 18 歳以下の子どもを無料招待します。

対象公演

- ・台湾フィルハーモニック
- ・九州交響楽団熊本特別演奏会

◇文化活動支援事業

県民へ熊本県立劇場での舞台芸術の発表の機会の提供と、公演のレベルアップを図ることを対象として、ホール使用料相当額を助成する事業です。熊本県立劇場広報媒体での周知も行いました。

2025 年度の実績

	ジャンル	公演名	団体名	公演日
1	演劇	熊本子どもミュージカル 第 13 回公演	熊本子どもミュージカル	4/20
2	オーケストラ	熊本大学フィルハーモニーオーケストラ 第 47 回演奏会	熊本大学フィルハーモニーオーケストラ	6/28
3	演奏	第 36 回箏曲の祭典	熊本箏演奏者協会	11/16
4	合唱	岩津整明先生追悼演奏会	合唱団 Grazie	2/1
5	ダンス	創立 5 周年記念公演	バレエスタジオキャンディー	2/8
6	吹奏楽	碧落アンサンブル第 34 回定期演奏会	碧落アンサンブル	2/23

◇部活動等支援事業

熊本県内の小・中・高等学校及び専門学校、大学等の部活動・サークル活動、または熊本県内に拠点を置く学生を主体とする地域クラブを対象に、学校等の部活動またはサークル活動に対してホール使用料を助成することで、青少年の芸術文化活動を支援する事業です。

2025 年度の実績

	ジャンル	団体名	利用内容	利用日
1	吹奏楽	熊本県立熊本北高等学校吹奏楽部	定期演奏会	5/23
2	吹奏楽	熊本市立帯山中学校吹奏楽部	定期演奏会	9/28
3	吹奏楽	熊本県立熊本高等学校音楽部	演奏会	8/9
4	吹奏楽	熊本市立長嶺中学校吹奏楽部	定期演奏会	9/6
5	合唱	熊本市立帯山小学校合唱部	練習	7/31
6	吹奏楽	熊本県立東陵高等学校吹奏楽部	練習	7/12
7	ダンス	鎮西高等学校ダンス部	リハーサル	12/13
8	吹奏楽	熊本学園大学付属高等学校・中学校吹奏楽部	定期演奏会	3/28
9	吹奏楽	熊本国府高等学校吹奏楽部	定期演奏会	2/15

助成の状況

多様な財源の確保のため、文化庁文化芸術振興費補助金をはじめとした助成事業に申請し、すべて採択されました。

文化庁文化芸術振興費補助金 (地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)	第 67 回熊本県芸術文化祭オープニングステージ 「はじまり はじまり ～舞台づくり学校～」
	ホワイエサロンシリーズ
	台湾フィルハーモニック
	舞台技術の基礎講座
	宇宙船イン・ビトゥイーン号の窓
	劇場人育成プログラム
	けんげきキッズプログラム
	市町村ホールネットワーク事業
	演奏家派遣アウトリーチ事業
	劇場って楽しい！！ ～知的・発達障がい児（者）にむけての劇場体験プログラム～
	みんなで踊ろう！ ～障がいのある人もない人も、一緒に踊るワークショップ～
	行くぜ！劇場探検隊
	県劇盆踊り
独立行政法人日本芸術文化振興会	
劇場・音楽堂等における子供 舞台芸術鑑賞体験支援事業	小曽根真 No Name Horses 20 年目の the day 1 第 19 回シヨパン国際ピアノ・コンクール 入賞者ガラ・コンサート
熊本県労働局	両立支援等助成金（育児休業等支援コース）

Ⅲ 施設利用および管理運営業務

1 施設の利用状況

第 5 期指定管理期間（以下、「今期」という。）は、1.広場としての劇場、2.広がる劇場、3.育てる劇場、4.公の施設としての使命を果たす劇場の 4 点を基本方針として、県民の文化振興に取り組んでいます。

今期 2 年目を迎えた 2025 年度は、12 月から県施工による駐車場舗装工事が開始し、駐車台数減での営業をおこなったほか、2026 年度の大規模改修に伴う閉館を見据え、業務運営にあたりました。

施設管理事業では、コンサート・演劇ホール両ホールの利用率は、昨年度に引き続き年間目標をクリアしました。年間来場者数は目標の 53 万人には届かなかったものの 48.5 万人余と好調で、昨年度比での達成率は 5 ポイントアップしました。

年度	開館 日数	コンサートホール		演劇ホール		大会議室		来館者数 (人)
		利用日数	利用率(%)	利用日数	利用率(%)	利用日数	利用率(%)	
2025	335	210	79	240	85	155	49	485,309
2024	333	214	78	224	83	155	50	459,225
2023	336	169	81	182	87	113	52	332,575
2022	335	206	76	223	77	160	53	382,131
2021	335	137	46	178	61	95	32	213,721

2 使用料の収納状況

県立劇場の使用料の収納については、県の会計規則に基づき、適正に納付を行いました。

年度	施設使用料	駐車場使用料	(単位：千円)
2025	109,730	69,526	
2024	124,844	71,132	
2023	101,442	56,125	
2022	123,322	56,380	
2021	93,895	36,560	

3 県立劇場の施設等の維持および修繕に関する業務

施設設備の維持管理

県立劇場は、不特定多数が利用する大規模施設であり、劇場という施設の性質上、高い安全性と快適性の確保が求められています。適切なメンテナンスおよび修繕によりトラブルを未然に防止することで、施設利用の継続性を確保しています。

2025 年度は、計画的な樹木剪定と、落葉・落枝・枯死等に迅速に対応し、伐採・伐根（6 区画 約 5,770 千円）を行い、景観の美化と近隣住民の不安解消に努めました。また、10 年経過した消火器の更新したほか（計 128 本）、設備や機器の更新、取換工事などの施設設備の修繕工事を、迅速かつ効率的に行いました。

Ⅳ 広報業務

1 広報ワーキンググループの活動

所属グループを超えた広報ワーキンググループメンバーを中心に、財団全体の広報活動を行いました。2025年度は全10回のミーティングを実施し、広報誌以外での情報発信も積極的に行いました。

2 文化事業年間パンフレットの製作・配布

2025年度の文化事業を紹介する年間パンフレットを製作。20,000部を県内外の公立文化ホールや公共施設、教育機関等に配布しました。

3 季刊誌「ほわいえ」

広報誌のコンセプトを「つながる、ひろがる、あつまる ほわいえ」とし、県立劇場の活動全般の情報発信を強化。県民の県立劇場への理解を深めるよう発行作業を行っています。

年4回、毎3,000部発行する季刊誌ほわいえは、web版の導入でバックナンバーの検索が容易になり、季刊誌が届かない人・場所への広報が広がり、より多くの人へのアプローチができるようになりました。

発行日	内容
6月20日	2025 夏号 vol.025 特集：シアターアジアオープニングシンポジウム 事業：けんげきキッズプログラム 九響0歳からのオーケストラ
9月20日	2025 秋号 vol.026 特集：特別対談 岡田利規×姜尚中 事業：熊本県芸術文化祭オープニングステージ はじまりはじまり クリエイション日記
12月20日	2025 冬号 vol.027 特集：熊本県芸術文化祭オープニングステージ はじまりはじまり～県劇舞台づくり学校～ 事業：コンサート会場としてのホワイエ
2026 年 3月20日	2026 春号 vol.028 特集：熊本県立劇場×熊本市消防音楽隊 避難訓練コンサート 事業：ホワイエ新能

4 季刊誌ほわいえ デジタルブック

年4回発行する季刊誌ほわいえは、毎号3,000部を県内教育機関や公共施設等に配架しています。県立劇場の取り組みや活動を県内に留まらず、できるだけ多くの人に発信するためデジタル化を導入。従来のPDFデータと比較しても表示速度やページめくり、拡大縮小などの操作性が向上し、ユーザーの利便性も高まったことで、閲覧数はほぼ横ばいですが、閲覧時間は20%程度増えました。

5 インターネット、ホームページの運用

2023 年度に公式ホームページのデザインを一新し訪問者にとって必要な情報がすぐに探せるレイアウトに変更。サイトマップも順次更新します。新着情報を掲載したほか、チケット発売・完売情報、公告などの情報発信を行いました。

6 ウェブサイトの多言語対応

県内在住の外国人の来館をはじめ、チケット購入については海外からのアクセスが増加するなどのニーズも高まっていることから、ホームページを多言語対応（英語、中国語[簡体・繁体]、韓国語、フランス語、ドイツ語）としました。

7 チケット販売

2025 年度のチケット販売実績は、過去最高の 2 万 1 千枚に達し、販売金額は 1 億円を超えました。また、劇場窓口とコンビニ利用者の比率は 4 対 6 とコンビニ利用が確実に増えています。劇場窓口での購入は、公演鑑賞で来館時の「ついで買い」が、また窓口・コンビニ発券ともにキャッシュレス化が確実に進んでいることが窺えます。

〔チケット販売実績〕

	2025 年度	2024 年度	2023 年度
販売枚数	21,509 枚	17,477 枚	11,719 枚
販売金額	106,648,700 円	59,666,500 円	62,205,300 円

8 先行予約会員制度

2019 年 6 月から先行予約会員に向け、文化事業のチケット先行予約販売を実施しています。

先行予約会員には、2026 年 3 月末で 22,680 人（2025 年 3 月末 17,043 人、5,637 人増）が登録しています。

V-i 熊本県立劇場の概要

1 建物概要

名 称	熊本県立劇場
所 在 地	熊本市中央区大江 2 丁目 7 番 1 号
敷 地 面 積	44,896 m ²
建 築 面 積	10,100 m ²
延 床 面 積	23,956 m ²
構 造	鉄骨・鉄筋コンクリート造 一部鉄筋コンクリート造 地下 2 階地上 3 階
設 計	建築設備 前川國男建築設計事務所
工 期	1980 年 12 月 20 日～1982 年 11 月 30 日
落 成	1982 年 12 月 4 日

2 施設概要

コンサートホール	クラシック音楽を中心にした音楽専用ホール。 約 2 秒の豊かな残響を持ち、ホールそのものが楽器と称されています。 「音楽家が選ぶ優良ホール 100 選」に選ばれるホールは、人の声を柔らかく響かせ、シンフォニーの音をダイナミックに伝えます。 収容定員 1,810 人 1 階 1,186 席/2 階 257 席/3 階 359 席 車椅子席 8 席
演劇ホール	オペラ、バレエ、歌舞伎、演劇等のあらゆる舞台芸術に対応したホール。最後部からでも演者の表情が見えるよう、舞台と客席の距離を計算して設計されています。 本花道を設けることができる数少ないホールとして、名舞台を生み出しています。 収容定員 1,172 人 地階 421 席/1 階 456 席/2 階 284 席 車椅子席 11 席
大会議室	地下 1 階 390 m² 収容定員 椅子のみ 360 人 机椅子使用 162 人
和室	地下 1 階 180 m ²
音楽リハーサル室	地下 1 階 308 m ²
演劇リハーサル室	地下 1 階 253 m ²
第 1 練習室	2 階 215 m ²
第 2 練習室	2 階 162 m ²
第 3 練習室	1 階 156 m ²
駐車場	普通車 496 台/バス専用 5 台
駐輪場	約 150 台

3 シンボルマーク

グラフィックデザイナーの福田繁雄氏によるデザイン。

人をデザインのモチーフに、喜びあふれた人々の笑顔を今日的な直線によって構成。九州の地形である末広がりの構造で、無限に広がる芸術文化に対する県民の意志を象徴させています。



V-ii（公財）熊本県立劇場の概要

1 設立趣意書

熊本県が建設する熊本県立劇場は、高まり行く県民の文化的欲求に対応するとともに、地域文化開発の拠点となって、活力ある郷土の実現をめざすこととなるのであるが、その管理運営が極めて重要な課題となる。

現下の厳しい社会情勢にかんがみ、県立劇場の管理運営にあたっては、行政負担を抑制すると同時に行政サービスを低下させることなく、効率的かつ適正な執行体制を確保する必要がある。

このことから、県民の福祉および文化の向上を図るための諸事業を実施し、県立劇場施設の管理委託を受けて、県民生活向上のためのサービスを提供する財団法人を設立のうえ、県立劇場建設の所期の目的を達成するため、民間のエネルギーおよび感覚をもって、より効果的運営を図ろうとするものである。

（財団法人熊本県立劇場設立趣意書より）

2 法人の目的および事業

（1）目的（定款第3条）

この法人は、活力ある郷土の実現をめざし、音楽、演劇、舞踊等の舞台芸術活動を中心とした芸術文化および地域文化の振興のための事業並びに優れた舞台芸術を広く提供する事業を行い、県民の福祉および文化の向上に寄与することを目的とする。

（2）事業（定款第4条）

- ・舞台芸術に関する公演を自主制作、又は、主催し、広く提供する事業
- ・個人および団体への助言並びに人材の育成に関する事業
- ・団体への助成に関する事業
- ・調査、研究、情報収集に関する事業
- ・普及・啓発のための広報に関する事業
- ・公立文化施設の管理および貸与に関する事業
- ・その他この法人の目的を達成するために必要な事業

（3）沿革

1982	昭和 57 年	6 月	14 日	財団法人熊本県立劇場の設立（民法第 34 条法人）
		6 月	23 日	熊本県立劇場条例施行
		12 月	4 日	熊本県立劇場落成
1984	昭和 59 年	3 月	5 日	財団法人熊本県立劇場文化事業委員会の発足
1988	昭和 63 年	7 月	1 日	鈴木健二館長就任
		8 月	20 日	文化振興基金の開設
1989	平成元年	3 月	25 日	消費税率改正（3%）に伴う熊本県立劇場条例一部改正（施設使用料金・駐車場料金）
		3 月	30 日	施設設備基金の開設
1993	平成 5 年	1 月	20 日	改修工事（演劇ホールバリアフリー化等）により 8 月 24 日まで利用停止
1994	平成 6 年	3 月	31 日	自主文化事業調整基金の開設
1997	平成 9 年	3 月	25 日	消費税率改正（5%）に伴う熊本県立劇場条例一部改正（施設使用料金）
		12 月	24 日	改修工事（コンサートホール隣壇自動迫化等）により 1998 年 3 月 28 日まで利用停止

1998	平成 10 年	3 月	25 日	熊本県立劇場条例一部改正
		7 月	1 日	施設使用料金の改定、施設使用許可取扱要領を整備(優先受付)
1999	平成 11 年	3 月	1 日	財団法人熊本県立劇場評議員会の発足(文化事業委員会の廃止)
		4 月	1 日	川本雄三館長就任
2002	平成 14 年	4 月	1 日	自主文化事業調整基金を一新し文化振興基金に改め運用開始
2003	平成 15 年	12 月	22 日	改修工事 (演劇ホール照明・音響設備等) により 2004 年 3 月 18 日まで利用停止
2005	平成 17 年	6 月	1 日	古田勝人館長就任
		7 月	1 日	熊本県立劇場条例および条例施行規則改正の公布 (指定管理者による施設の運営が可能)
		10 月	31 日	熊本県立劇場保全計画の策定
2006	平成 18 年	4 月	1 日	熊本県立劇場指定管理者業務開始 [第 1 期]
				文化振興基金および施設設備基金の廃止
		6 月	23 日	財団法人熊本県立劇場自主文化事業委員会の発足
		7 月	1 日	葉山完治館長就任
2009	平成 21 年	4 月	1 日	熊本県立劇場指定管理者業務開始 [第 2 期]
2010	平成 22 年	1 月	19 日	第 6 回地域創造大賞 (総務大臣賞) 受賞
		8 月	3 日	改修工事 (コンサートホール車椅子席新設) により 8 月 27 日まで利用停止
		12 月	22 日	熊本県立劇場条例一部改定 (公の施設から暴力団を排除するための関係条例の整備)
2011	平成 23 年	12 月	26 日	改修工事 (空調設備等) により 2012 年 3 月 31 日まで利用停止
2012	平成 24 年	4 月	1 日	公益財団法人へ移行登記
				熊本県立劇場指定管理者業務開始 [第 3 期]
2014	平成 26 年	3 月	26 日	運営方針の制定、消費税率改正 (8%) に伴う熊本県立劇場条例一部改正(施設使用料金)
		4 月	1 日	熊本県立劇場条例一部改正 (改正条例の施行)
				熊本県立劇場運営方針の施行
		12 月	8 日	改修工事 (衛生設備等) により 2015 年 3 月 4 日まで利用停止
2016	平成 28 年	1 月	1 日	姜尚中理事長兼館長就任
		2 月	29 日	熊本県立劇場保全計画の見直し
		4 月	15 日	熊本地震発生により 8 月 24 日まで休館(熊本地震による災害応急復旧工事)
		12 月	19 日	熊本地震を受けて第 3 期指定管理者期間の 2 年延長
2017	平成 29 年	2 月	1 日	熊本地震災害本格復旧工事により 2018 年 3 月 20 日まで新規利用停止
		5 月	29 日	熊本県と熊本市との連携による文化芸術の振興に関する覚書の締結
		8 月	28 日	熊本市市民会館の指定管理業務の運営に係る包括協定書の締結
2018	平成 30 年	2 月	1 日	改修工事(コンサート及び演劇ホール舞台照明改修工事)により 3 月 20 日まで利用停止
		4 月	1 日	熊本市市民会館文化企画事業の受託開始
				改修工事 (演劇ホール舞台吊物機構) により 8 月 16 日まで利用停止
		6 月	27 日	熊本県立劇場文化事業評価委員会の設置 (文化事業委員会の廃止)
2019	平成 31 年	10 月	17 日	熊本県立劇場条例一部改正 (強化すべき役割と運営体制の特例)
		3 月	22 日	消費税率改正 (10%) に伴う熊本県立劇場条例一部改正 (施設使用料金)
		4 月	1 日	熊本県立劇場指定管理者業務開始 [第 4 期]

2020	令和 2 年	3 月	11 日	学校法人御船学園平成音楽大学と包括連携協定の締結
		3 月	13 日	学校法人未来創造学園熊本デザイン専門学校と包括連携協定の締結
		4 月	3 日	新型コロナウイルス感染拡大により 5 月 6 日までのホール利用停止と新規の使用許可申請の受付停止
		4 月	22 日	新型コロナウイルス感染拡大により 5 月 6 日まで臨時休館（全館利用停止）
		5 月	6 日	新型コロナウイルス感染拡大により 5 月 20 日までホール等利用停止の延長(練習室等一部施設は利用再開)
		5 月	18 日	第 29 回 BELCA ロングライフ部門受賞
		5 月	28 日	新型コロナウイルス感染症防止により、政府のイベント開催制限の段階的緩和の目安が示され、全施設の利用再開
		10 月	26 日	改修工事（両ホール音響設備、トイレ等衛生設備改修工事他）により 2021 年 3 月 19 日まで利用停止
2021	令和 3 年	3 月	15 日	国立大学法人熊本大学教育学部・大学院教育学研究科と包括連携協定の締結
		3 月	26 日	熊本県立劇場条例一部改正（ホールの部分利用）
		5 月	14 日	新型コロナウイルスまん延防止等重点措置の適用により、6 月 13 日まで施設の利用時間制限（全施設の利用時間は 20 時まで。但し、イベント開催時の本番の利用時間は 21 時まで）
		11 月	7 日	熊本県吹奏楽連盟創立 65 周年記念式典にて表彰（吹奏楽発展に寄与）
		11 月	25 日	宮城県東松島市長から震災特別感謝状授与（被災地支援事業）
2022	令和 4 年	12 月	4 日	熊本県立劇場開館 40 周年
2023	令和 5 年	11 月	13 日	改修工事（空調、電気及び照明設備等の更新）により 3 月 15 日まで利用停止
2024	令和 6 年	4 月	1 日	熊本県立劇場指定管理者業務開始〔第 5 期〕
		5 月	29 日	熊本交響楽団と包括連携協定の締結
		9 月	12 日	スタインウェイ納品
2025	令和 7 年	2 月	13 日	（公財）九州交響楽団と包括連携協定の締結
		4 月	1 日	熊本県立劇場条例一部改正（施設使用料金の改定）
		4 月	1 日	（公社）全国公立文化施設協会及び同会九州支部 支部長館及び理事就任
		5 月	1 日	台湾高雄市政府文化局文化センター管理處と姉妹劇場提携に関する協定の締結
		8 月	27 日	スタインウェイ納品
		12 月	1 日	駐車場舗装工事開始（～R8.9.30 予定）
		12 月	8 日	駐車場管制設備更新（～R8.3.16）

評議員会

評議員 6 名

役員

理事会

理事長

常務理事

理事 8 名

監事

監 事 1 名

事務局

館長
姜 尚中

副館長(兼)

事務局長

総務グループ 4 名

施設サービスグループ 7 名

舞台技術グループ 4 名

事業グループ 6 名

文化事業評価委員会(外部組織) 7 名

〔協力企業〕

○設備運転・監視 ○警備 ○清掃 ○庭園管理 ○舞台技術業務

VI 第5期指定管理期間（2024～2029年度）における中期運営基本方針

（公財）熊本県立劇場は、熊本県議会の議決により、令和6（2024）年度から令和10（2029）年度までの第5期の熊本県立劇場管理者として指定されました。

当財団は、公の施設としての劇場の管理運営を基本業務としながら、引続き県との連携の下に関係法令および熊本県立劇場運営方針を踏まえつつ、以下の4点を中期的な運営の基本方針として、取り組みます。



1 広場としての劇場

質の高い実演芸術を提供する場であるとともに、誰もが気軽に文化芸術に触れ合え、人と人をつなぐ共生の広場としての劇場を目指します。（スローガン「日常に、劇場を。」）



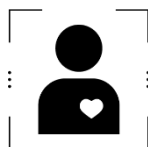
2 広がる劇場

県域全体に役割を果たすために劇場から遠い人々へ実演芸術の感動を届けるとともに地域文化の振興に努め、劇場内の活動に止まらない「動く劇場」を目指します。さらに、アジアのゲートウェイとして実演芸術をととして相互理解を深める「シアターアジア」に取り組みます。



3 育てる劇場

未来を担う子どもたち、アーティスト、実演芸術に携わる専門的人材など、関係機関と連携してこれからの熊本を担う若い世代の人材育成に取り組みます。



4 公の施設としての使命を果たす劇場

劇場施設の管理運営にあたっては、条例の趣旨に沿って公平、公正に対応し、効率的な業務執行に努めながら、安全、安心で快適な施設利用を提供します。文化事業については、多様な財源の確保に努めるとともに、関係者、関係機関と連携して事業効果の最大化に努めます。

VII 資料

□資料 1 [新聞記事] 熊本日日新聞社 提供

熊本日日新聞 2025 年 4 月 20 日付

熊本初「0歳からのオーケストラ」

幼い子どもたちに音楽と親しんでもらう「0歳からのオーケストラ」が19日、熊本市中央区の熊本県立劇場であり、家族連れら約1500人が九州交響楽団の演奏に耳を傾けた。

九響が活動拠点の福岡県で2022年から開いている。熊本では初めてで、県立劇場と今年2月に結んだ包括連携協定の一環として企画した。

3歳未満は入場無料で、演奏中のホールへの出入りは自由。おむつ替えスペースや授乳室も臨時で増設した。

九響が、モーツァルトの「魔笛」やチャイコフスキーの「花のワルツ」など、よく知られたクラシック曲を披露。美しい音色で観客を魅了した。音楽を「子守歌」に眠ってしまつ子ども姿もあった。

熊本市南区の自営業野村崇幸さん(45)は、長男の風生ちゃん(3)と参加。「小さい頃からいろいろ触れさせたいと思うので、クラシックを聞く良い機会になった」と話していた。

(井田真太郎)

九響の演奏「子守歌」に 県立劇場



幼い子どもも鑑賞した「0歳からのオーケストラ」
19日、熊本市中央区

熊本日日新聞 2025 年 5 月 4 日付

箏の多彩な魅力感じて

若手実力派の3人によるアンサンブル「芬の集」が10日、熊本市中央区の熊本県立劇場コンサートホールホワイエで演奏会を開く。メンバーの清原晏(合志市出身)は「その瞬間の空間でしか聞くことのできない、3人の音の会話を楽しんでもほしい」と語る。

清原と長谷由香、細川喬弘の3人は1999年生まれの25歳。清原は2022年の「くまもと全国邦楽コンクール」で最優秀賞、長谷と細川もそれぞれ箏の全国コンクールで最優秀賞を受賞している。東京芸大邦楽科の元同級生で、大学卒業後の23年4月に芬の集を結成。グループ名は、3人の共通の趣味サウナの発祥の地フィンランドの漢字表記「芬蘭」から取った。

演奏会では、サウナを題材にした「アウフグース」(冷水乃栄流)をはじめ、古典の代表的楽曲「さらし風手事」(宮

若手実力派の3人 10日県劇で演奏会

城道雄)、超絶技巧が特徴的な「翺」(橋本みぎわ)など多彩な曲を聴かせる。

清原は「箏は敷居が高く、若手が進出しにくい楽器だが、自分たちが先駆けとなって演奏しやすい環境をつくっていきたい。気軽に演奏会に足を運び、箏の魅力を感じてもらえたら」と話している。

午後2時開演。3千円。未就学児不可。県立劇場☎096(363)2233。(東有咲)



10日に熊本県立劇場で演奏会を開く「芬の集」メンバー。左から清原晏、長谷由香、細川喬弘(提供写真)

「シアターアジア」本格始動へ



「台湾フィルハーモニック」(提供写真)



「シアターアジア」事業について語る熊本県立劇場の姜尚中館長＝熊本市中央区

姜尚中・県劇場長 就任当初から構想

熊本とアジアの国々を文化事業でつなぐ。熊本県立劇場(熊本市中央区)が本年度から「シアターアジア」事業を本格始動させる。姜尚中館長は「シアターアジアを一つの看板にして、熊本を九州の文化芸術の拠点に育て上げたい」と語る。(東有咲)

「シアターアジア」本年度事業

●25日 シアターアジア オープニングシンポジウム「アートがつなぐ熊本とアジア」
午後2時。第1部は姜館長が事業の具体的な構想について講演。第2部は木村敬知事と石田麻子昭和音楽大教授を招いたパネルディスカッション。

●30日 ポール・ホアン公開レッスンin熊本
午後6時15分。台湾を代表するバイオリニストポール・ホアンが実技指導。

●31日 台湾フィルハーモニック
午後2時。アジアで最も優れたオーケストラの一つとされる台湾フィルが熊本初登場。台湾の作曲家蕭泰然の「フォルモサからの天使」など。指揮は準・メルクル、バイオリンはポール・ホアン、ソプラノは森麻季。

●8月2日、3日 宇宙船イン・ビトゥイン号の窓
2日は午後6時、3日は午後2時。日本語を母国語としない俳優による舞台。作・演出は岡田利規(熊本市)。

●26年2月7日 ホワイエ新能
午後6時。狩野了一、野村万緑が能・狂言を上演する。公演では多言語化したパンフレットを配布予定。

※問い合わせは熊本県立劇場☎096(363)2233。

シアターアジアは、姜館長が就任した2016年1月当初から掲げてきた構想。しかし、就任直後の4月に熊本地震が発生し、その後も、20年の熊本豪雨や新型コロナウイルス感染拡大などの影響もあって、実現できなかった。台湾積体回路製造(TSMC)が菊陽町に進出するなどアジアとの交流への期待が高まる中、コロナ禍が落ち着いた。姜館長は事業の目的の一つに「政治や経済などに翻弄されることなく、普段着でアジア周辺国を行き来してきてきた23年度から事業の準備を進めてきた」。

「九州の文化芸術拠点に」

「日本の人口減少は避けられず、これからはアジアとの結び付きからさまざまな可能性を探っていくことが必要」という姜館長。「熊本はアジアのゲートウェイになりつつある。ただ、文化的な広がりもないと、TSMC進出効果は望めないのでは」と語る。県内公立文化ホールの中核としての役割も担う県立劇場。姜館長は「県内の文化格差の是正もテーマの一つ。シアターアジアにも結び付けながら、それぞれの施設の活性化につなげていきたい」と力を込めた。

術文化に親しむ」ことを挙げる。本年度は、25日のオープニングシンポジウムを皮切りに3公演を予定。「1回限りのその場に足を運ばないと成り立たない劇場での実演芸術を楽しんでもらいたい」と語る。さらに、公演団体を招聘するだけでなく、舞台を支えるスタッフらの人材育成、交流にも力を入れていく構えだ。

※訂正 18日ぶんか芸能面「『シアターアジア』本格始動へ」の「台湾フィルハーモニック」の写真は

「台北フィルハーモニック合唱団」でした。

シアターアジアについて意見交換する(左から)姜尚中・熊本県立劇場館長、木村敬知事、石田麻子昭和音楽大教授。25日、熊本市中央区



県立劇場「シアターアジア事業」でシンポ

「熊本を文化のハブに」

姜尚中館長が抱負 熊本市

熊本とアジアの国々を文化事業でつなぐ熊本県立劇場(熊本市中央区)の「シアターアジア事業」オープニングシンポジウムが25日、同劇場であった。姜尚中館長が約150人を前に基調講演し「熊本を文化のサプライチェーン(供給網)のハブ(拠点)にしていきたい」と抱負を語った。

姜館長は、熊本地震や熊本豪雨、コロナ禍を経て「や」と事業を進められる時が来た」と強調。「文化がその土地に暮らす人々にアイデンティティーや誇りをも

たらし、人を呼び込む力になる」と述べ、演劇の国際共同制作や、著名な演出家による集中講義、若手人材の育成など具体的な構想について説明した。

続くパネルディスカッションでは姜館長、木村敬知事、石田麻子昭和音楽大教授がシアターアジアを軸とする熊本の未来をテーマに意見交換。木村知事は「東アジアが平和であり続けるために貢献できるもの」、石田教授は「身近に鑑賞できる機会が増えるのは文化飛躍の大きな力になる」と期待を込めた。

(澤本麻里子)

文化圏

◇台湾フィルハーモニック公演 31日、熊本市中央区の熊本県立劇場であった。熊本とアジアを文化でつなぐ同劇場事業「シアターアジア」の一環。同楽団の音楽監督を務める準・メルクルさんの指揮で3曲を披露した。台湾の作曲家蕭泰然さんが手がけた「フォルモサからの天使」は、1本のフルートの緩やかな調べに始まり、弦楽器や金管楽器が重なっていく過程で豊かな台湾の田園風景を想起させた。ベートーベン「バイオリン協奏曲ニ長調」では、台湾を代表するバイオリニスト、ポール・ホアンさんがしなやかな表現力で観客を魅了。マーラー「交響曲第4番ト長調」では、ソプラノの森麻季さんが華やかな歌声を響かせた。

華やかな演奏で観客を魅了した台湾フィルハーモニック
31日、熊本市中央区

県劇に爆破予告 テロ防げ

県警など訓練 避難誘導の手順確認

県立劇場であったテロ想定訓練で、犯人役からの爆破予告電話に対応する職員たち（右）
＝ 8 日、熊本市中央区

熊本県立劇場（熊本市中央区）で8日、テロを想定した訓練があり、県警や同劇場、県内の文化ホール職員など約90人が、不審な電話への対応や来場者の避難誘導の手順を確認した。

劇場のホール内に爆弾が仕掛けられ、事務所に爆破予告の電話があったという想定。施設職員は犯人役の警察官から爆弾を仕掛けた場所や爆破時刻を聞き出し、110番通報して内容を伝えた後、来場者らを建物の外まで安全に避難させた。県警機動隊による不審物対応訓練もあった。

同劇場職員の貴田雄介さん（38）は「電話で犯人役と話し、緊張した。心構えができた」と話した。県警警備第2課の田中良和・危機管理室長補佐は「テロの未然防止や迅速な対処には、継続して訓練することが大事」と述べた。

訓練は県警が毎年、駅や空港など不特定多数の人が利用する施設と合同で企画している。（古東竜之介）

日本語の可能性 開きたい

岡田利規(熊本市)主宰 演劇カンパニー「チェルフィッチュ」

熊本市在住の劇作家で作家の岡田利規が主宰する演劇カンパニー「チェルフィッチュ」が8月2、3日、熊本市中央区の熊本県立劇場で「宇宙船イン・ビトゥイン号の窓」を上演する。日本語を母語としない俳優らが日本語で演じるSF劇で、岡田は「日本の演劇で話されるのは大抵ネーティブの日本語。それだと演劇の幅が狭まる気がしていた。演劇における日本語の可能性を開いていきたい」と語る。



「宇宙船イン・ビトゥイン号の窓」の2023年8月東京公演の舞台(チェルフィッチュ提供)

母語としない俳優らSF劇 来月2、3日県立劇場

舞台は宇宙船。言葉の衰退を食い止めるべく、地球外生命体に言葉を習得させる使命を得た人間4人と、1体のロボット、宇宙人が登場する。宇宙空間を漂いながら言葉を巡る対話を繰り広げ、言葉が一体誰のものなのかを考えていく。

岡田は1997年、チェルフィッチュを旗揚げ。これまで国内外90都市以上で公演し、その全作品の脚本と演出を手がけてきた。

「演劇は、俳優の属性と役柄が一致しなくても成立するもの。しかし、日本語を母語としない俳優が、発音や文法が正しくないだけで能力とは異なる部分で評価され、おかしいと思っていた」

その違和感が今回の作品につながった。2021年から日本語を母語としない人を対象にしたワークショップを実施し、出会った俳優と共に創作。俳優はそれ

ぞれ中国、ドイツ、ハンガリー、フィリピンの出身だが、あえて日本語の発音やイントネーションは直さず、互いの「想像力」を生かし、密にコミュニケーションを取りながら仕上げた。

本作は23年8月の東京公演を皮切りに、京都、中国、ベルギー、韓国、フランスの6都市で上演。熊本公演は、熊本とアジアの国々を文化事業でつなぐ熊本県立劇場の「シアターアジア事業」の一環として実現した。

熊本は台湾積体回路製造(TSMC)の進出に伴い、台湾人をはじめとする外国人移住者が増えている。岡田は「演劇は生もので、見る人や、その地域が置かれている状況次第で作品の仕上がりは変わる。熊本で上演することはとても意義があると思う。言語や日本語について思いを巡らせる時間にしてほしいと話した。」

(東有咲)

※2日は午後6時、3日は午後2時から。一般4千円。未就学児不可。同劇場096(3603)2263。



岡田利規
(チェルフィッチュ提供)

◇チェルフィッチュ「宇宙船イン・ビトゥイン号の窓」熊本公演 2、3の両日、熊本市中央区の熊本県立劇場であった。チェルフィッチュは同市在住の劇作家岡田利規さん主宰の演劇カンパニーで、本作は宇宙船を舞台に人間、アンドロイド、地球外生命体が「言葉」を巡る対話を繰り広げるSF劇。日本語を母語としない俳優らが日本語で演

「宇宙船イン・ビトゥイン号の窓」熊本公演の一場面
 3日、熊本市中央区



じた。3日のアフタートクで岡田さんは、海外では俳優の属性と役柄が一致しないことも多いと説明。――(日本だと)俳優には日本語のせりふを『こういうふうに言つ』という暗黙の何かがあり、聞く側もそれに疑いを持たない。そういうのは壊された方がよいのではないかと思った」と作品に込めた思いを語った。

第67回熊本県芸術文化祭のオープニングステージが21日、熊本市中央区の熊本県立劇場で開かれる。「はじまり はじまり 県劇舞台づくり学校」と題し、音楽、映像、衣装など県内の学生らが中心となって制作した約70分のダンス作品を上演する。同文化祭は12月までの期間中、県内各地で約140の公演などが予定されている。

「はじまり」は子どもたちに舞台やその裏側に興味を持ってもらおうと同劇場が企画。県内から公募した中学生から大学生までの

小学生ら 大舞台でダンス

21日県立劇場 県芸術文化祭で上演



熊本県芸術文化祭オープニングステージの練習に励む子どもパフォーマーと古家優里さん(前列右) 8月31日、熊本市中央区

23人が、プロのアドバイスを受けながら6月から制作に取り組んできた。舞台に立つのは県内の小学1～5年生の子どもパフォーマー18人と、熊本市在住で全国的に活躍する振付家・ダンサーの古家優里さん(42)率いるダンスカンパニー「プロジェクト大山」のメンバーら。古家さんは、総合演出や振り付け指導も担っている。

絵本「はじまり はじまり」(荒井良二作)をベースに、舞台の幕が上がると思えない世界が広がる様子を表現する。ダンス未経験者も多いが、全員が自ら考えた振り付けを踊る場面もあり、古家さんは「子どもにしかない奇想天外な発想や個性を生かせるよう指導している。この夏の経験が、これから先の自信にもつながれば」と願う。

8月末、子どもパフォーマーの練習にも熱気がこもっていた。城南小2年の三村美穂さんは「表現するのは難しいけど、だんだん楽しくなってきた。みんなで頑張っているところを見て来てほしい」と笑顔でアピールした。

午後2時開演。2千円。同劇場096(363)2233。(東有咲)

ニー「プロジェクト大山」のメンバーら。古家さんは、総合演出や振り付け指導も担っている。

絵本「はじまり はじまり」(荒井良二作)をベースに、舞台の幕が上がると思えない世界が広がる様子を表現する。ダンス未経験者も多いが、全員が自ら考えた振り付けを踊る場面もあり、古家さんは「子どもにしかない奇想天外な発想や個性を生かせるよう指導している。この夏の経験が、これから先の自信にもつながれば」と願う。

8月末、子どもパフォーマーの練習にも熱気がこもっていた。城南小2年の三村美穂さんは「表現するのは難しいけど、だんだん楽しくなってきた。みんなで頑張っているところを見て来てほしい」と笑顔でアピールした。

午後2時開演。2千円。同劇場096(363)2233。(東有咲)

九響熊本公演 心待ちに

熊本市メンバーら演奏曲紹介

九州交響楽団（福岡市）

が、11月の熊本公演を前に演奏曲を紹介するレクチャーコンサートが20日、熊本市中央区の市現代美術館であった。九響のメンバーらが作曲家バルトーク（ハンガリー）とストラヴィンスキー（ロシア）の作品を演奏し、宇城市在住の作曲家野村誠さん（56）が魅力や聞き



レクチャーコンサートで演奏する野村誠さん（中央）と九響のメンバーら

＝20日、熊本市中央区

どころを解説した。

九響のバイオリン奏者ら3人が出演。野村さんが卓越した演奏技術が必要と指摘したバルトーク「バイオリン協奏曲第2番」は、奏者が極端な高音と低音が入り交じる部分を実演し、約100人の聴衆が驚きの表情で耳を傾けた。

メロディーはシンプルだが、リズムや楽器の組み合わせでストーリー性と躍動感を演出しているというストラヴィンスキー「バレエ音楽『ペトルーシュカ』」の一部も披露された。野村さんは「2人が活躍していた年代（20世紀前半）は近いが共通点は少ない。対照的な曲の組み合わせを楽しんでほしい」と話した。

熊本公演は11月8日午後3時から、熊本市中央区の熊本県立劇場で。同館☎096（363）2233。

（東有咲）

「熊本の推し」ダンスで表現

熊本市 県芸術文化祭オープニング



熊本市県芸術文化祭のオープニングステージでオリジナルのダンス作品を披露する子どもたち＝21日、熊本市中央区

第67回熊本県芸術文化祭のオープニングステージ「はじまり はじまり」県劇舞台づくり学校」が21日、熊本市中央区の県立劇場であり、小学生らがオリジナルのダンス作品を披露した。県文化協会などでつくる実行委主催。

同舞台は絵本「はじまりはじまり」（荒井良二作）をベースに、県内の中学、大学生がプロのアドバイスを受けて音楽や衣装、映像を制作。ダンサー・振付家の古家優里さん（42）＝熊本市＝が率いるダンスカンパ

ニーのメンバーや、県内の小学1～5年生18人が舞台に立った。

食べ物や歴史など子どもたちが考える「熊本の推し」をテーマにダンスや映像、演劇で夢の世界を演出。色鮮やかな衣装に身を包んだ子どもたちは、リズムミカルな音楽に合わせたかわいらしいダンスで、来場者を不思議な世界へいざなった。県芸術文化祭は県内最大の文化の祭典。12月までの期間中、約150のイベントが予定されている。

（前田晃志）

県立劇場 1年5カ月間休館

来年10月から つり天井の耐震工事で



つり天井の耐震強化改修工事のため、来年10月から休館する熊本県立劇場のコンサートホール＝熊本市中央区

熊本県立劇場（熊本市中央区）は、ホール上部に設置されている「つり天井」の耐震強化改修工事のため、2026年10月から28年2月までの1年5カ月間、休館する。駐車場は利用できる。1982年の開館以来、最も長い休館期間となる。

東日本大震災を受けた2014年の建築基準法改正で、高さ6mを超える面積200平方m以上のつり天井は、地震時の脱落防止や耐久性確保のための改修が必要となった。県立劇場には、コンサートホールや演劇ホール、ホワイエなどにつり天井が設置されている。

閉館中、文化団体のサポートや劇場外でのアウトリーチ活動、市町村ホールとの連携事業は継続する。県劇の宮家郁子事務局長（58）は「長期間にわたる休館で利用者には迷惑をおかけするが、安全のために必要な工事だと理解していただきたい」と話している。

県立劇場は老朽化に伴い、改修工事を重ねてきた。20年度に約5カ月間休館したのが、これまで最長だった。直近では23年度に約4カ月間休館した。

（東有咲）

□資料 2 [アウトリーチ実施校]

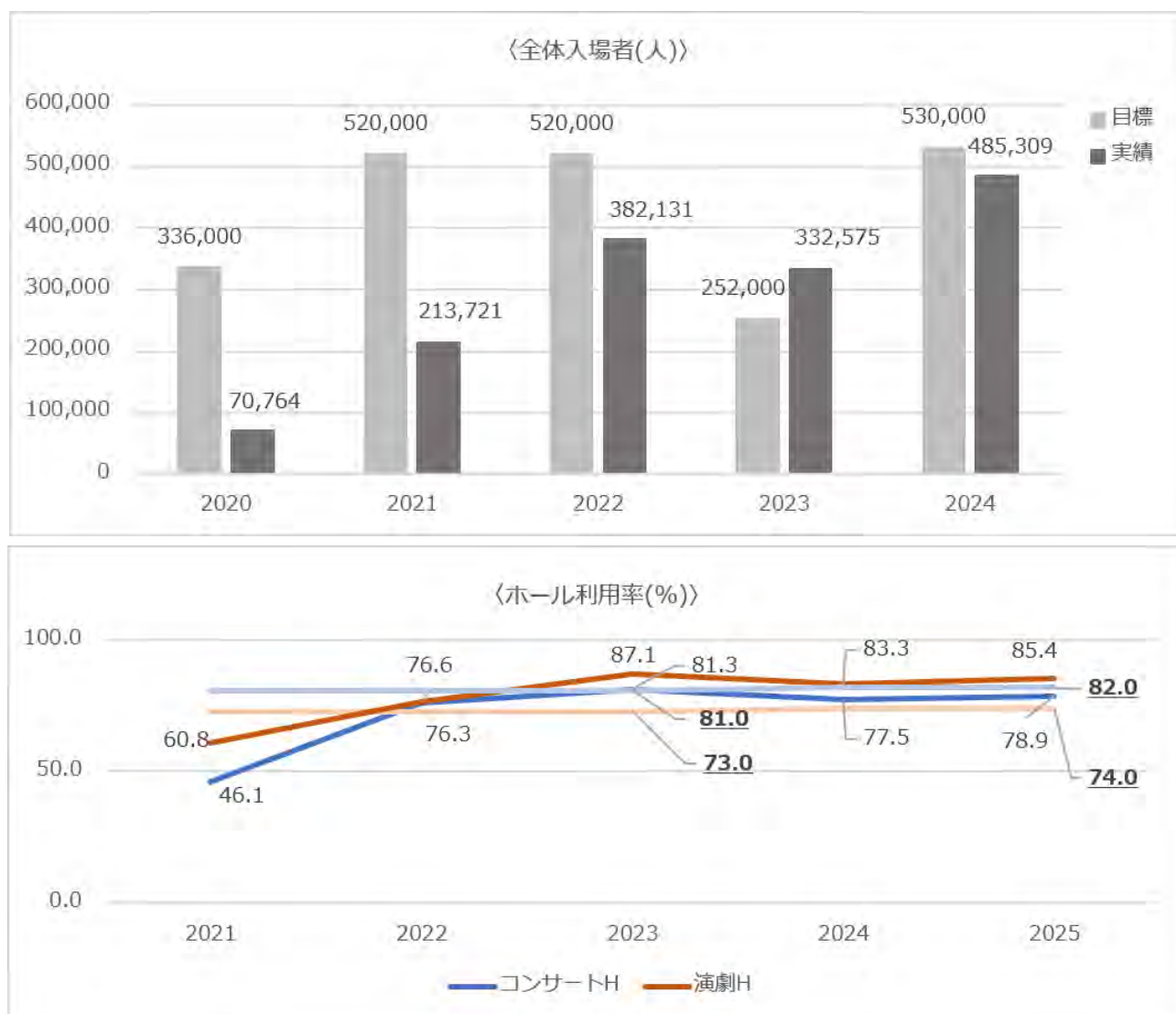
期日	学校名	学年	演奏家	参加者(人)
産山村（5 コマ）				
10 月 1 日	産山学園	1～3 年	亀子政孝（コントラバス）	17
〃	〃	4～6 年	〃	29
10 月 2 日	〃	7 年+ヒゴタイ交流生+ALT	〃	13
〃	〃	8 年	〃	12
10 月 3 日	〃	9 年	〃	14
球磨村（2 コマ）				
10 月 6 日	球磨清流学園	3,4 年	高木佳央理（ソプラノ）	38
〃	〃	1,2 年	〃	25
美里町（3 コマ）				
10 月 9 日	中央中学校	1 年	木原朱音（トランペット）	33
10 月 10 日	〃	2 年	緒方愛子（ヴァイオリン）	34
〃	〃	3 年	〃	33
津奈木町（4 コマ）				
10 月 22 日	津奈木小学校	1,2 年	村椿彬子（メゾ・ソプラノ）	49
10 月 23 日	〃	3,4 年	〃	46
〃	〃	5 年	〃	40
10 月 24 日	〃	6 年	〃	31
芦北町（5 コマ）				
11 月 5 日	湯浦小学校	6 年	高木佳央理（ソプラノ）	27
11 月 10 日	田浦小学校	6 年	緒方愛子（ヴァイオリン）	30
〃	内野小学校	3～6 年	〃	31
11 月 19 日	佐敷小学校	6 年	春日香南（クラリネット）	46
〃	大野小学校	1～6 年	〃	24
あさぎり町（6 コマ）				
11 月 11 日	深田小学校	4～6 年	緒方愛子（ヴァイオリン）	50
〃	須恵小学校	4～6 年	〃	40
11 月 12 日	上小学校	5 年	〃	40
〃	岡原小学校	4,5 年	〃	47
11 月 17 日	免田小学校	5 年	小路永和奈（箏）	26
〃	〃	5 年	〃	26
多良木町（3 コマ）				
11 月 19 日	黒肥地小学校	4 年	小路永和奈（箏）	21
12 月 17 日	多良木小学校	4,5 年生	亀子政孝（コントラバス）	63
〃	久米小学校	1～6 年	〃	51

期日	学校名	学年	演奏家	参加者(人)
水俣市（9 コマ）				
2 月 2 日	久木野小学校	1～6 年	高木佳央理（ソプラノ）	9
〃	葛渡小学校	1～6 年	〃	32
2 月 3 日	水俣第二小学校	6 年	〃	26
1 月 22 日	〃	〃	〃	23
2 月 4 日	湯出小学校	1～6 年	〃	33
2 月 5 日	水東小学校	1～6 年	春日香南（クラリネット）	45
2 月 9 日	水俣第一小学校	5 年	小路永和奈（箏）	25
〃	〃	〃	〃	23
2 月 10 日	袋小学校	6 年	〃	19
益城町（14 コマ）				
2 月 2 日	広安小学校	4 年	山本亜矢子（ピアノ）	21
〃	〃	4 年	〃	28
2 月 3 日	〃	4 年	〃	26
〃	〃	4 年	〃	24
2 月 10 日	広安西小学校	3,4 年	高木佳央理（ソプラノ）	23
〃	〃	3,4 年	〃	27
2 月 12 日	〃	4 年	〃	29
〃	〃	4 年	〃	27
2 月 19 日	飯野小学校	4 年	〃	19
〃	〃	4 年	インフルエンザによる学級閉鎖	0
2 月 24 日	津森小学校	3,4 年	山本亜矢子（ピアノ）	24
〃	益城中央小学校	4 年	〃	25
2 月 25 日	〃	4 年	〃	19
〃	〃	4 年	〃	22
宇土市（3 コマ）				
2 月 5 日	宇土小学校	4 年	村椿彬子（メゾ・ソプラノ）	34
〃	〃	4 年	〃	31
2 月 6 日	〃	4 年	〃	32
合 計				1,582

□資料 3 [施設別利用状況]

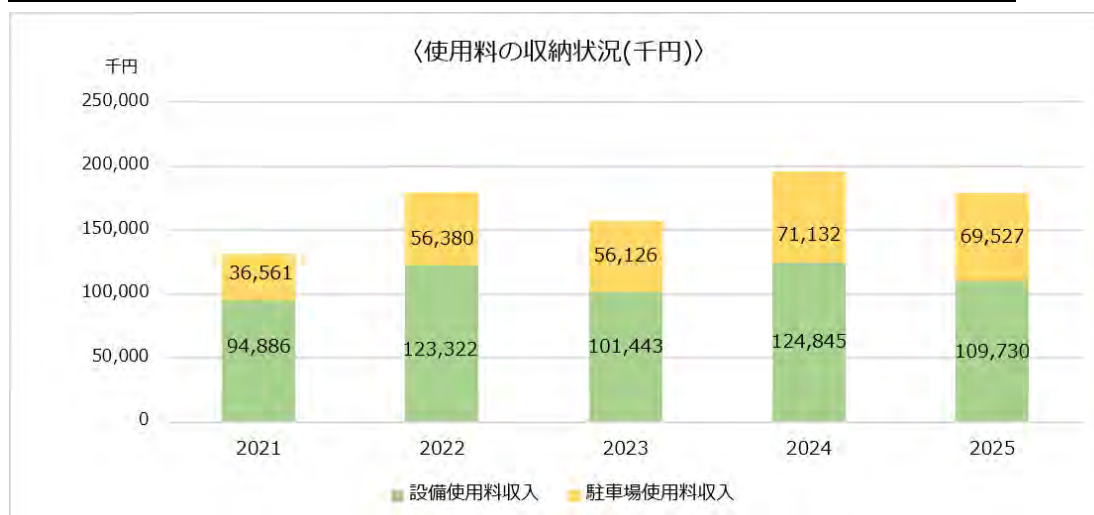
施設名	利用状況	2025 年度	2024 年度	前年度比
コンサート ホール	利用可能日数	266	276	-10
	利用日数	210	214	-4
	利用率 (%)	78.9	77.5	1.4
	入場者数 (人)	170,885	182,221	-11,336
演劇ホール	利用可能日数	281	269	12
	利用日数	240	224	16
	利用率 (%)	85.4	83.3	2.1
	入場者数 (人)	131,024	115,753	15,271
大会議室	利用可能日数	316	310	6
	利用日数	155	155	0
	利用率 (%)	49.1	50.0	-0.9
	入場者数 (人)	22,196	20,560	1,636
和室	利用可能日数	328	327	1
	利用日数	101	74	27
	利用率 (%)	30.8	22.6	8.2
	入場者数 (人)	2,147	1,384	763
音楽リハーサル室	利用可能日数	331	322	9
	利用日数	240	230	10
	利用率 (%)	72.5	71.4	1.1
	入場者数 (人)	17,525	16,750	775
演劇リハーサル室	利用可能日数	324	322	2
	利用日数	175	178	-3
	利用率 (%)	54.0	55.3	-1.3
	入場者数 (人)	9,957	11,029	-1,072
第 1 練習室	利用可能日数	324	326	-2
	利用日数	159	165	-6
	利用率 (%)	49.1	50.6	-1.5
	入場者数 (人)	9,993	11,400	-1,407
第 2 練習室	利用可能日数	326	323	3
	利用日数	241	218	23
	利用率 (%)	73.9	67.5	6.4
	入場者数 (人)	8,391	5,334	3,057
第 3 練習室	利用可能日数	329	326	3
	利用日数	209	260	-51
	利用率 (%)	63.5	79.8	-16.3
	入場者数 (人)	9,222	7,954	1,268
他の入場者数	入場者数 (人)	103,969	86,840	17,129
入場者数合計 (人)		485,309	459,225	26,084

□資料 4 [入場者数・ホール利用率の推移]



□資料 5 [使用料の収納状況の推移]

年度	設備使用料収入	駐車場使用料収入	計
2025 年度	109,730,090 円	69,526,800 円	179,256,890 円
2024 年度	124,844,915 円	71,132,000 円	195,976,915 円
2023 年度	101,442,750 円	56,125,600 円	157,568,350 円
2022 年度	123,322,410 円	56,380,000 円	179,702,410 円
2021 年度	93,895,600 円	36,560,800 円	130,456,400 円



□資料 6 [貸借対照表]

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	99,927,903	61,416,705	38,511,198
現金	587,470	396,920	190,550
普通預金肥後銀行大江支店(58070)	65,900,861	57,050,133	8,850,728
普通預金肥後銀行大江支店(48296)	533,625	1,089,535	△555,910
普通預金肥後銀行大江支店(48949)	32,905,947	2,880,117	30,025,830
普通預金肥後銀行大江支店(112640)	0	0	0
未収入金	18,640,702	19,143,752	△503,050
前払金	900,586	1,124,951	△224,365
流動資産合計	119,469,191	81,685,408	37,783,783
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産積立預金	40,000,000	40,000,000	0
基本財産合計	40,000,000	40,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	47,085,996	42,042,610	5,043,386
特別企画事業積立資産	25,096,972	25,039,296	57,676
文化事業寄附積立資産	4,342,794	4,243,716	99,078
減価償却引当積立資産	22,001,740	18,000,240	4,001,500
シアターアジア推進事業準備資金	0	25,000,000	△25,000,000
子ども未来プロジェクト2025準備資金	0	4,000,000	△4,000,000
子ども未来プロジェクト2026準備資金	4,000,000	2,000,000	2,000,000
シアターアジア2027準備資金	11,000,000	3,000,000	8,000,000
子ども未来プロジェクト2027準備資金	3,000,000	0	3,000,000
オペラプロジェクト2028準備資金	5,000,000	0	5,000,000
改修工事リニューアルオープン記念事業準備資金	7,000,000	0	7,000,000
特定資産合計	128,527,502	123,325,862	5,201,640
(3) その他固定資産			
建物	9,581,306	9,781,609	△200,303
建物付属設備	2,096,420	2,252,097	△155,677
構築物	1,114,117	1,373,717	△259,600
工具備品	8,900,229	10,100,244	△1,200,015
リース資産	10,546,800	14,062,400	△3,515,600
その他固定資産合計	32,238,872	37,570,067	△5,331,195
固定資産合計	200,766,374	200,895,929	△129,555
資産合計	320,235,565	282,581,337	37,654,228
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	10,322,386	13,483,254	△3,160,868
未払消費税等	6,155,100	2,133,000	4,022,100
預り金	35,036,966	5,428,244	29,608,722
1年以内返済予定リース債務	4,001,252	4,001,252	0
賞与引当金	8,818,159	9,238,000	△419,841
流動負債合計	64,333,863	34,283,750	30,050,113
2. 固定負債			
退職給付引当金	47,085,996	42,042,610	5,043,386
リース債務	7,211,533	10,457,575	△3,246,042
固定負債合計	54,297,529	52,500,185	1,797,344
負債合計	118,631,392	86,783,935	31,847,457
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	24,342,794	24,243,716	99,078
指定正味財産合計	24,342,794	24,243,716	99,078
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(4,342,794)	(4,243,716)	(99,078)
2. 一般正味財産	177,261,379	171,553,686	5,707,693
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(77,143,498)	(77,040,936)	(102,562)
正味財産合計	201,604,173	195,797,402	5,806,771
負債及び正味財産合計	320,235,565	282,581,337	37,654,228

□資料 7 [正味財産増減計算書]

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	62,500	800	61,700
基本財産受取利息	62,500	800	61,700
特定資産運用益	154,083	7,091	146,992
退職手当引当資産受取利息	43,386	740	42,646
特別企画事業積立資産受取利息	57,676	499	57,177
オペラプロジェクト2024積立資金受取利息	0	4,717	△ 4,717
減価償却引当積立資金受取利息	3,500	200	3,300
子ども未来プロジェクト2024準備資金受取利息	0	595	△ 595
シアターアジア推進事業準備資金受取利息	42,939	340	42,599
子ども未来プロジェクト2025準備資金受取利息	6,582	0	6,582
事業収益	28,442,418	45,812,356	△ 17,369,938
創造拠点事業収益	1,600,500	2,617,000	△ 1,016,500
普及拠点事業収益	26,767,718	43,105,381	△ 16,337,663
普及・啓発広報事業費収益	74,200	0	74,200
雑収益	0	89,975	△ 89,975
受託収益	474,819,860	478,228,896	△ 3,409,036
管理業務受託収益	427,866,000	427,866,000	0
事業受託収益	36,600,000	38,470,000	△ 1,870,000
制作受託収益	10,353,860	11,892,896	△ 1,539,036
広告料及び協賛金収益	1,635,000	1,105,000	530,000
広告料収益	135,000	105,000	30,000
協賛金収益	1,500,000	1,000,000	500,000
受取補助金等	19,187,500	24,172,750	△ 4,985,250
受取団体助成金	19,187,500	24,172,750	△ 4,985,250
雑収益	14,194,090	12,706,707	1,487,383
受取利息	430,997	113,190	317,807
講演料収益	1,675,382	343,760	1,331,622
雑収益	12,087,711	12,249,757	△ 162,046
経常収益計	538,495,451	562,033,600	△ 23,538,149
(2) 経常費用			
創造拠点事業費	47,310,939	44,592,151	2,718,788
臨時雇賃金	16,500	10,000	6,500
会議費	4,500	0	4,500
諸謝金	105,000	105,000	0
旅費交通費	1,057,001	938,429	118,572
出演者等食糧費	185,353	205,163	△ 19,810
什器備品費	88,550	0	88,550
消耗品費	414,320	720,707	△ 306,387
燃料費	26,144	31,204	△ 5,060
印刷製本費	815,955	440,363	375,592
保険料	56,684	58,126	△ 1,442
通信運搬費	423,952	590,170	△ 166,218
広告費	854,684	1,052,979	△ 198,295
支払手数料	23,329	54,489	△ 31,160
委託費	35,682,525	33,383,946	2,298,579
賃借料	5,390,893	5,257,500	133,393
支払助成金	1,898,775	1,555,575	343,200
租税公課	0	10,000	△ 10,000
雑費	266,774	178,500	88,274
普及拠点事業費	61,126,251	106,935,298	△ 45,809,047
臨時雇賃金	36,300	57,000	△ 20,700
会議費	12,960	0	12,960
諸謝金	105,000	105,000	0
旅費交通費	703,741	3,476,904	△ 2,773,163
出演者等食糧費	165,451	368,158	△ 202,707
什器備品費	36,000	328,900	△ 292,900
消耗品費	942,512	2,199,303	△ 1,256,791
燃料費	31,050	26,702	4,348
印刷製本費	719,930	1,998,094	△ 1,278,164
保険料	2,961	2,652	309
通信運搬費	766,654	810,791	△ 44,137
広告費	2,366,753	3,853,531	△ 1,486,778
支払手数料	385,070	885,905	△ 500,835
委託費	49,696,461	86,241,665	△ 36,545,204
賃借料	5,002,892	6,507,473	△ 1,504,581
租税公課	30,000	42,000	△ 12,000
雑費	122,516	31,220	91,296
普及・啓発広報事業費	7,159,086	4,987,395	2,171,691
旅費交通費	90,856	7,000	83,856
消耗品費	199,446	8,360	191,086
印刷製本費	41,790	106,010	△ 64,220
通信運搬費	222,116	273,841	△ 51,725
広告費	47,520	39,600	7,920
支払手数料	1,210	440	770
委託費	6,541,348	4,483,824	2,057,524
賃借料	800	8,320	△ 7,520
租税公課	10,000	0	10,000
雑費	4,000	60,000	△ 56,000

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
施設管理事業費(管理費)	354,916,257	353,519,719	1,396,538
報酬	235,200	0	235,200
給料手当	59,249,407	63,760,099	△ 4,510,692
職員手当	22,268,680	23,448,586	△ 1,179,906
賞与引当金繰入額	6,437,256	6,651,360	△ 214,104
退職給付費用	3,600,000	3,600,000	0
福利厚生費	16,873,563	17,811,243	△ 937,680
旅費交通費	996,404	1,166,910	△ 170,506
減価償却費	5,983,855	6,305,218	△ 321,363
建物減価償却費	192,291	192,291	0
建物付属設備減価償却費	149,450	149,450	0
構築物減価償却費	249,216	244,992	4,224
工具備品減価償却費	2,369,482	2,695,069	△ 325,587
リース資産減価償却費	3,023,416	3,023,416	0
消耗品費	3,276,023	3,484,325	△ 208,302
修繕費	7,487,548	8,776,845	△ 1,289,297
印刷製本費	311,850	165,000	146,850
光熱水費	63,135,643	61,546,860	1,588,783
保険料	617,210	604,130	13,080
通信運搬費	746,185	727,947	18,238
支払手数料	4,010,639	2,845,169	1,165,470
委託費	142,707,232	138,388,984	4,318,248
賃借料	3,761,082	3,386,777	374,305
租税公課	12,299,619	9,799,668	2,499,951
支払利息	700,182	797,868	△ 97,686
雑費	218,679	252,730	△ 34,051
管理費	57,388,220	60,055,849	△ 2,667,629
報酬	709,800	1,102,500	△ 392,700
給料手当	23,585,050	25,337,911	△ 1,752,861
職員手当	7,787,624	8,672,924	△ 885,300
賞与引当金繰入額	2,380,903	2,586,640	△ 205,737
退職給付費用	1,443,386	1,400,740	42,646
福利厚生費	6,096,504	6,435,655	△ 339,151
交際費	111,597	15,500	96,097
会議費	17,530	147,848	△ 130,318
旅費交通費	374,889	354,138	20,751
減価償却費	601,335	605,265	△ 3,930
建物減価償却費	8,012	8,012	0
建物付属設備減価償却費	6,227	6,227	0
構築物減価償却費	10,384	10,208	176
工具備品減価償却費	84,528	88,634	△ 4,106
リース資産減価償却費	492,184	492,184	0
消耗品費	905,493	963,187	△ 57,694
修繕費	311,980	365,697	△ 53,717
光熱水費	2,630,625	2,564,422	66,203
通信運搬費	222,854	217,404	5,450
支払手数料	520,744	579,279	△ 58,535
委託費	4,358,619	4,175,940	182,679
賃借料	1,123,373	1,011,581	111,792
支払負担金	269,880	269,880	0
租税公課	3,661,581	2,935,532	726,049
支払利息	209,136	238,319	△ 29,183
雑費	65,317	75,487	△ 10,170
経常費用計	527,900,753	570,090,412	△ 42,189,659
当期経常増減額	10,594,698	△ 8,056,812	18,651,510
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
除却損失	5	0	5
工具備品除却損	5	0	5
経常外費用計	5	0	5
当期経常外増減額	△ 5	0	△ 5
税引前当期一般正味財産増減額	10,594,693	△ 8,056,812	18,651,505
法人税、住民税及び事業税	4,887,000	4,964,300	△ 77,300
当期一般正味財産増減額	5,707,693	△ 13,021,112	18,728,805
一般正味財産期首残高	171,553,686	184,574,798	△ 13,021,112
一般正味財産期末残高	177,261,379	171,553,686	5,707,693
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受取寄附金	90,276	0	90,276
受取寄附金	90,276	0	90,276
特定資産運用益	8,802	2,303	6,499
文化事業寄附積立資産受取利息	8,802	2,303	6,499
当期指定正味財産増減額	99,078	2,303	96,775
指定正味財産期首残高	24,243,716	24,241,413	2,303
指定正味財産期末残高	24,342,794	24,243,716	99,078
Ⅲ 正味財産期末残高	201,604,173	195,797,402	5,806,771

□資料 8 [文化事業チラシ]



2025年度から本格スタートするシアターアジア事業。
熊本県立劇場がゲートウェイとなり、
文化芸術でアジア諸国と熊本を繋ぎます！
今回はそのスタートを記念したオープニングシンポジウムです。
国内外の文化政策に詳しい昭和音楽大学の石田麻子教授とともに、
木村敬熊本県知事、そして姜尚中館長が、
いま熊本でシアターアジア事業を行う意義を語ります。

熊本県立劇場 文化政策

シアターアジア オープニングシンポジウム
アートがつなぐ熊本とアジア
— 熊本からアジアへ、アジアから熊本へ —

プログラム

第一部 講演 熊本県立劇場 館長 姜尚中
「シアターアジアとは—
アジアという広場に集う」

第二部 シンポジウム
「シアターアジアを通して見る
クマモトの未来」
★登壇者 石田麻子(昭和音楽大学 教授)
木村敬(熊本県知事)
姜尚中(熊本県立劇場 館長)

※プログラムは変更になる場合がございます。

2025.5.25[日]
開場 13:30 / 開演 14:00
会場 熊本県立劇場演劇ホール

チケット情報

限定421席(座席数のみ) 全席自由 入場無料
※要事前申込・先着順 ※申込受付終了・入場券をお取りします
※要観覧券購入不可(有料観覧券は別途あり、要事前申込)

申込受付

受付開始日: 2025.4.11[金] 9:00~
申込方法: 熊本県立劇場HPもしくはQRコード
より、応募フォームに必要事項を記入
の上お申し込みください

主催/公益財団法人熊本県立劇場
共催/熊本県 後援/熊本日日新聞社
お問い合わせ/熊本県立劇場 096-363-2233(受付時間 9:00~19:00/休館日を除く)

参加無料!

KUMAMOTO
PREFECTURAL
THEATER
熊本県立劇場文化事業

浴衣推奨!
(有料レンタルあり)

津軽三味線全国チャンピオンの
阿部兄弟を中心に結成された
「あべや」による迫力の生演劇で
盆踊りを楽しみましょう!

県劇盆踊り

ようこそ広場へ

【特別ゲスト】
◆新感覚邦楽ユニット「あべや」
・津軽三味線…阿部金三郎・阿部都三郎
・唄…根本麻耶
・津軽三味線・舞踊…安藤龍正
・尺八…佐藤公基

【出演】
◆牛深ハイサ保存会
◆中山芳保会 ◆さくらち盆踊り部

◎食べ物ブース
キッチンカーもくるよ!

◎ゲームコーナー(無料)
◎マルシェブース
近隣店舗から出店!

◎オープンピアノ
スタジオピアノを弾こう!

◎お楽しみ抽選会

みんなで踊ろう!

とき 2025年8月14日[木]
16:30-20:20(予定)

ところ 熊本県立劇場 演劇ホールホワイエ ほか

お問合せ/熊本県立劇場 096-363-2233

主催/公益財団法人 熊本県立劇場
協賛/大曲江門興センター・高野病院、ゆめマート大江、レストラン七影
スポンサー/サン株式会社 熊本支社
協力/大江校区自治協議会、託麻原校区自治協議会
大江校区自治会連合会、託麻原校区自治会連合会

KENGEKI BON DANCE

Thursday, August 14, 2025 16:30-20:20
at KUMAMOTO PREFECTURAL THEATER [Admission Free!]

Learn more:
(Google Translate)

キェルフィッシュ

作・演出 岡田利規
出 演 安藤真理、徐秋成、ティナ・ロズネル、
ネス・ロケ、ロバート・ツェツェ、米川幸リオン

宇宙船イン・ビトウイン号可窓

熊本 8/2②、3③
三重 8/9②、10③
豊田 9/22②、23③

熊本県立劇場 演劇ホール舞台上
三重県文化会館 小ホール
芸術文化観光専門職大学 静思堂シアター

けんげき
キッズプログラム

熊本県立劇場
文化祭

**衣裳・音楽・
映像を作って
みたい!**

けんげき
キッズプログラム

熊本県立劇場
文化祭

**県劇のステージに
立ってみたい!**

**ダンスを
踊ってみたい!**

舞台上で使われる音楽や衣裳・映像を作ってみたい人を募集します

舞台上でダンスを踊ってみたい人、自分の振付を考えてみたい人を募集します

第67回熊本県芸術文化祭オープニングステージ
「はじまり はじまり ～県劇舞台づくり学校～」

学生クリエイター 大募集!

参加無料
5/17
申込バッチ

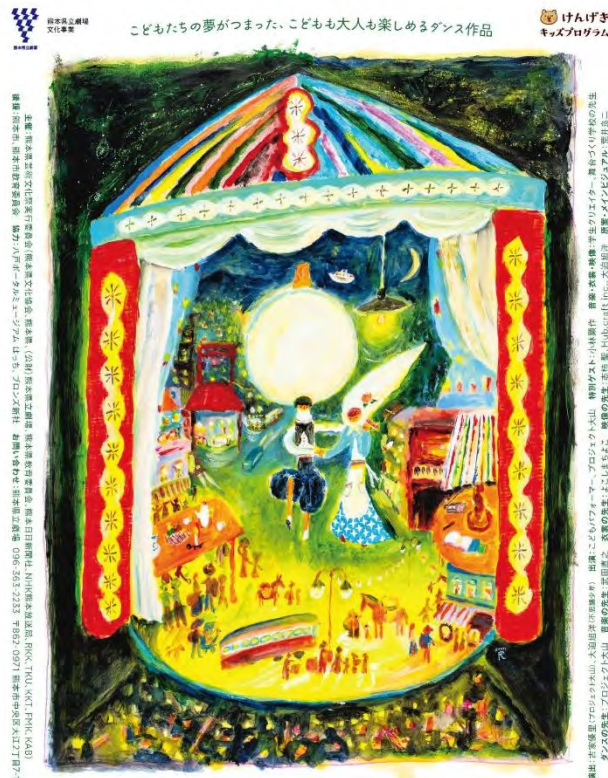
第67回熊本県芸術文化祭オープニングステージ
「はじまり はじまり ～県劇舞台づくり学校～」

こどもパフォーマー 大募集!

参加無料
5/17
申込バッチ

ワークショップ 6～9月 本 音 9月21日(日) @熊本県立劇場 演劇ホール

ワークショップ 7～9月 本 音 9月21日(日) @熊本県立劇場 演劇ホール



第67回熊本県芸術文化祭オープニングステージ
「はじまり はじまり ～県劇舞台づくり学校～」

2025年9月21日(日) 開場13:15 開演14:00 熊本県立劇場 演劇ホール 全席指定 2,000円

資料 9 [季刊誌ほわいえ]



2025 年度 熊本県立劇場アニュアルレポート

2026 年 8 月 1 日発行

公益財団法人熊本県立劇場

熊本県熊本市中央区大江 2 丁目 7 番 1 号

電話 096-363-2233（代）

<https://www.kengeki.or.jp>